つるせ西だより

～今月の特集～
フェスティバル

富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」

第96号（10月号）2014.10.1
編集：鶴瀬西交流センターだより編集委員会
発行：富士見市立鶴瀬西交流センター

〒354－0021　富士見市大字鶴馬3575－1　TEL:049－251－2791　FAX:049－255－9707

鶴瀬西地域の風景 96

さあ　今日から二学期だ！

小雨模様の8月25日。市内の小・中学校では、二学期の授業が始まりました。この日の朝、つるせ台小学校周辺では、町会や学校応援団、先生方の見守る中、楽しい夏休みを元気に過ごした子どもたちが、班ごとに続々と登校して来ます。

こんがりと日焼けした顔、ちょっと緊張した顔の子どもたちが、にこにこと大きな声で挨拶を交わしながら、手には傘と宿題や作品を詰めた大きな袋を下げて、リーダーに続きます。

さあ36日ぶりの授業再開だ！

（撮影・文／川上喜久治・関沢）

まちの話題

大きな時計が消えます

大きな古時計という歌があります。何年ぐらいたつと古時計というのか分かりませんが、鶴瀬駅西口広場には、富士見ロータリークラブ寄贈により昭和55年5月23日に設置された時計があります。時計は、富士見市の成り立ちである、旧鶴瀬・南畑・水谷村三村合併の意味を込め三本の脚でがっちりと支えられています。

たくさんの人々が見上げ、いろいろな感慨を抱いたであろう「あの時計」が鶴瀬駅西口土地区画整理事業により間もなく消えることになりました。

時計台設置時のロータリークラブメンバーです

第6保育所でスイカ割り

夏も真っ盛りの8月、第6保育所の「あそぼう会」で地域の方を交えてスイカ割りが行われました。小さなお子さんが、ビニールシートの上で年長さんに手をひかれ、暑さを吹き飛ばすほどの元気な声援を受け、スイカ割りに挑戦しました。

「つるせ西だより」は富士見市ホームページからもご覧いただけます